



2011年5月期  
**第2四半期決算説明会**

(証券コード：7713)

**シグマ光機株式会社**

**2011年1月14日**

**東海東京証券株式会社 東京本社**

- 1. 2011年5月期第2四半期決算概要 & 通期見通し**  
**経理部副部長 石井 康之**
- 2. 2011年5月期進捗状況**  
**代表取締役社長 森 吟二**

# 1-1) 2011年5月期第2四半期決算概要



(単位:百万円)

	2010/5期		2011/5期				
	2Q 累計実績	構成比	期初計画	業績予想 修正(10/25)	2Q 累計実績	構成比	前期比 増減率
売上高	2,601	100.0%	3,080	3,440	3,465	100.0%	33.2%
営業利益	-96	-3.7%	130	370	332	9.6%	-
経常利益	-29	-1.1%	185	430	396	11.4%	-
当期純利益	-51	-2.0%	95	220	227	6.6%	-
1株当り当期純利益(円)	-6円95銭		12円75銭	29円54銭	30円49銭		-

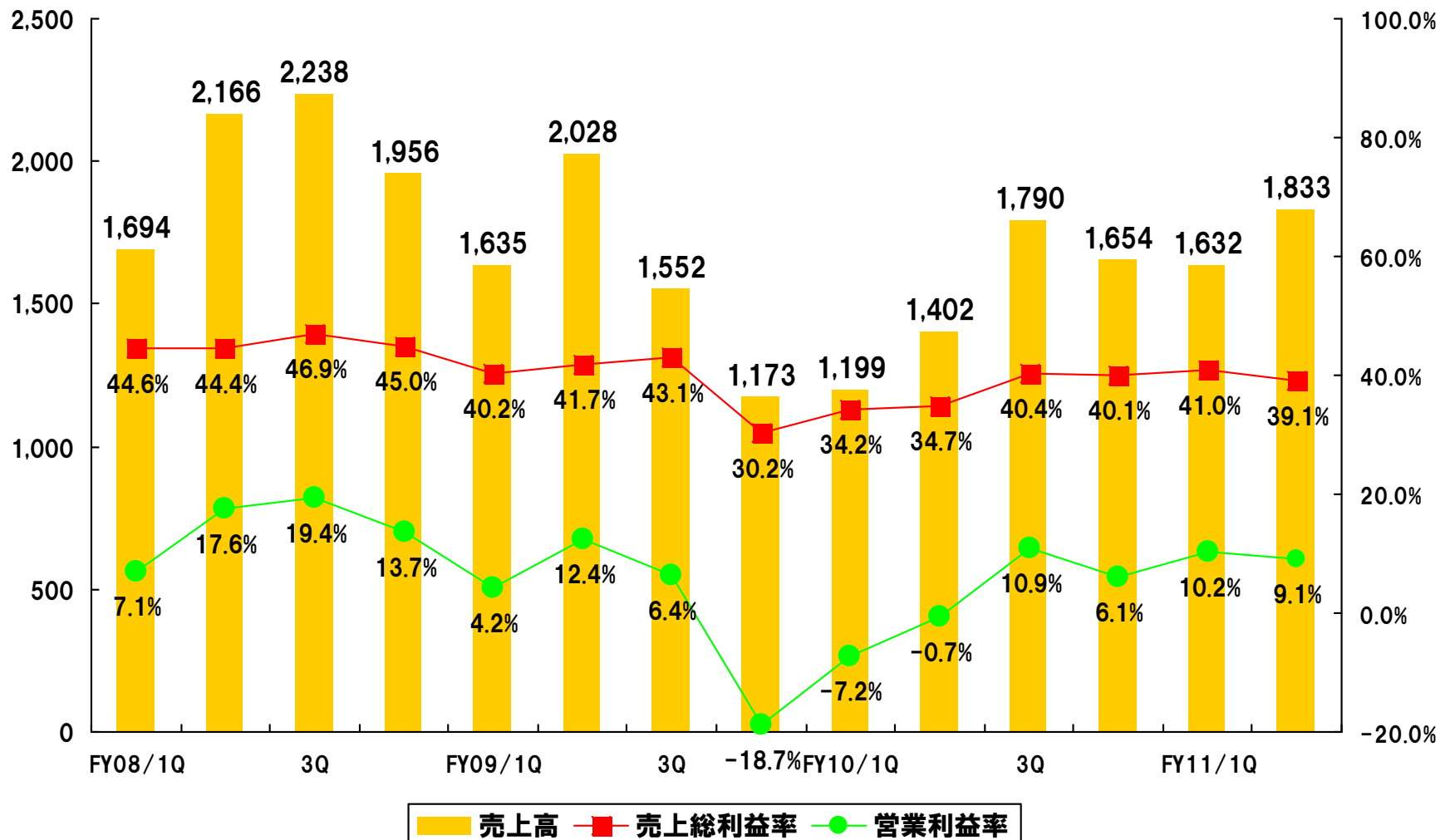
- ◎ 売上高は、半導体市場において新規設備投資が活発に推移し、前期比大幅増。
- ◎ 営業利益、経常利益、当期純利益は、売上高増および経費コントロールにより、前期比黒字化大幅回復。
- ◎ 特別損失として本社・工場賃貸物件に関して、資産除去債務会計基準の適用に伴い賃借期間30年の内、20年分12百万円を一括計上。

(注) 為替レート：1米ドル=95.27円→88.85円 1人民元=13.91円→13.08円

# 四半期売上高・利益率推移（連結）

## 四半期実績（2008/1Q~2011/2Q）

（単位：百万円）



# セグメント別 売上高・営業利益推移（連結）

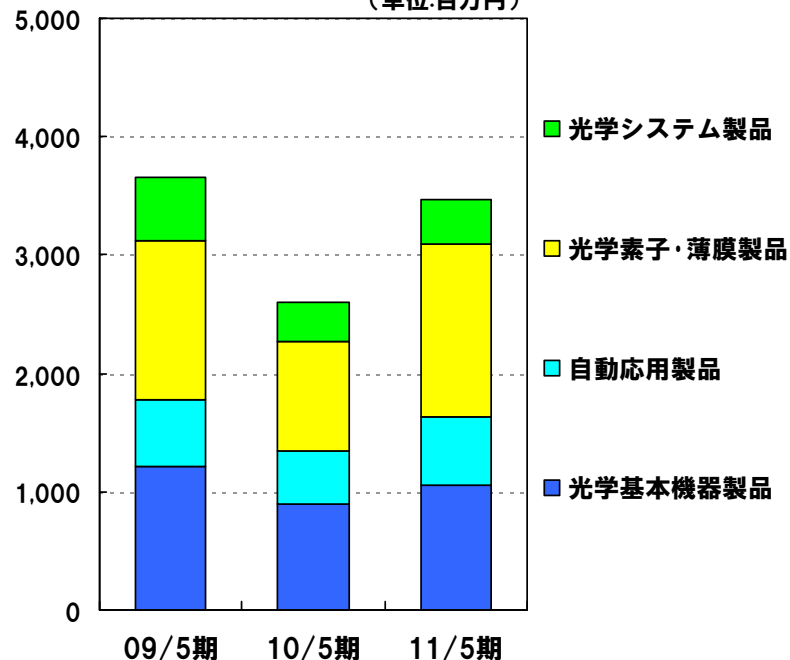


## 売上高

（単位:百万円）

事業区分	09/5期 2Q累計	10/5期 2Q累計	11/5期 2Q累計	前期比 増減率
<b>要素部品事業</b>	3,116	2,278	3,097	35.9%
光学基本機器製品	1,216	903	1,059	17.2%
自動応用製品	566	448	574	27.9%
光学素子・薄膜製品	1,333	925	1,464	58.1%
<b>システム製品事業</b>	547	323	368	14.0%
光学システム製品	547	323	368	14.0%
<b>合計</b>	<b>3,664</b>	<b>2,601</b>	<b>3,465</b>	<b>33.2%</b>

（単位:百万円）



## 営業損益

（単位:百万円）

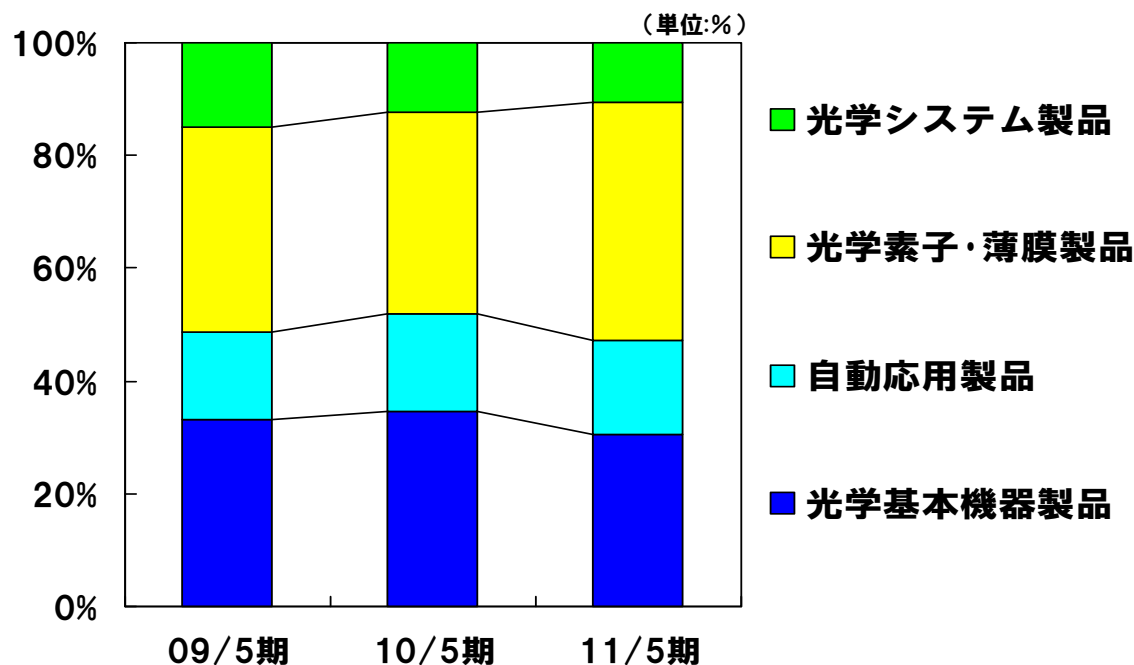
事業区分	09/5期 2Q累計	10/5期 2Q累計	11/5期 2Q累計	前期比 増減率
<b>要素部品事業</b>	608	153	619	303.7%
<b>システム製品事業</b>	-63	-51	-98	-
<b>消去又は全社</b>	-224	-198	-188	-
<b>合計</b>	<b>320</b>	<b>-96</b>	<b>332</b>	<b>-</b>

# セグメント別売上高構成比推移（連結）



（単位：百万円）

製品区分	2009/5期		2010/5期		2011/5期	
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比
光学基本機器製品	1,216	33.2%	903	34.7%	1,059	30.6%
自動応用製品	566	15.5%	448	17.3%	574	16.6%
光学素子・薄膜製品	1,333	36.4%	925	35.6%	1,464	42.2%
光学システム製品	547	14.9%	323	12.4%	368	10.6%
合計	3,664	100.0%	2,601	100.0%	3,465	100.0%

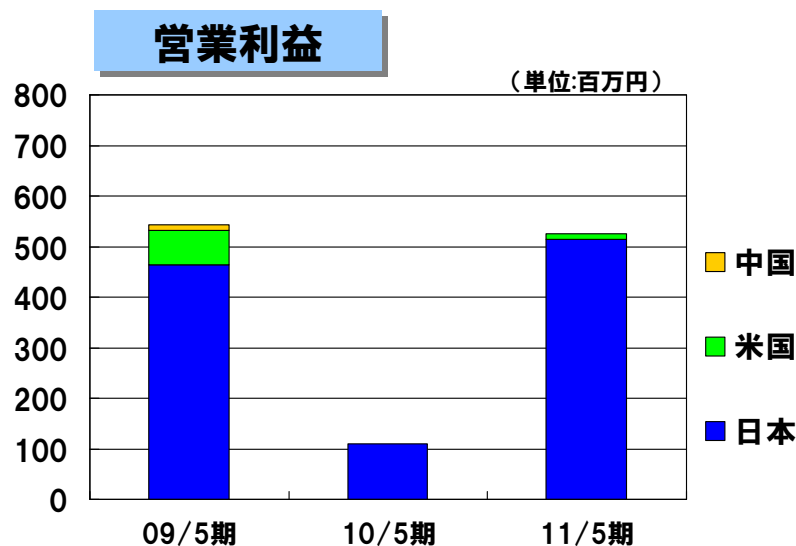
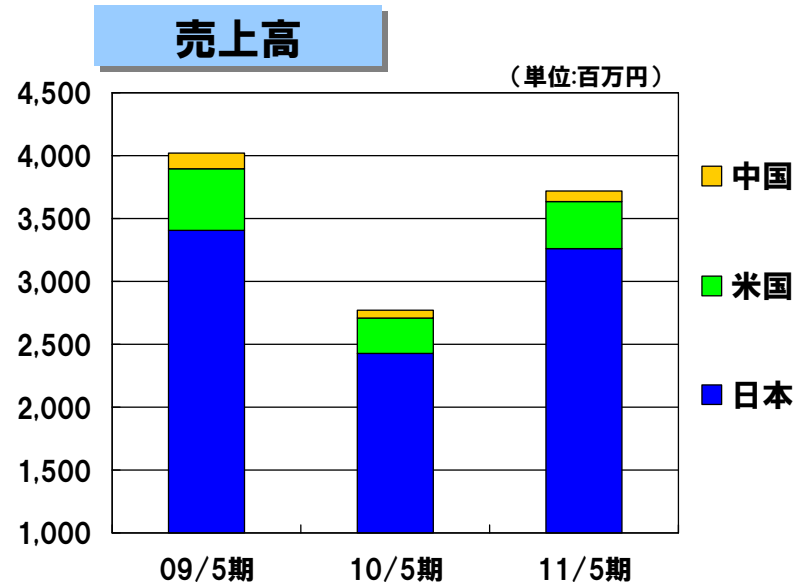


# 所在地別売上高・営業利益推移（連結）



(単位:百万円)

		日本	米国	中国	消去 又は 全社	計
2009/5 2Q累計	売上高	3,411	486	126	-359	3,664
	営業利益	464	67	12	-224	320
2010/5 2Q累計	売上高	2,425	282	59	-165	2,601
	営業利益	110	-1	-7	-198	-96
2011/5 2Q累計	売上高	3,264	374	82	-255	3,465
	営業利益	515	10	-4	-188	332



# 売上原価の状況（連結）

（単位：百万円）

	2010/5期		2011/5期		
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	前期比 増減率
売上高	2,601	100.0%	3,465	100.0%	33.2%
材料仕入	606	23.3%	1,176	34.0%	94.1%
人件費	498	19.2%	624	18.0%	25.1%
外注加工費	68	2.6%	139	4.0%	105.1%
減価償却費	132	5.1%	123	3.5%	-7.0%
在庫増減（注）	285	11.0%	-132	-3.8%	-
その他	113	4.3%	149	4.3%	31.2%
売上原価	1,704	65.5%	2,079	60.0%	22.0%
売上総利益	897	34.5%	1,385	40.0%	54.4%

◎売上高回復に伴う材料仕入、外注加工費増。

（注）在庫増：マイナス表記



# 販売管理費の状況（連結）

（単位：百万円）

	2010/5期		2011/5期		
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	前期比増減率
売上高	2,601	100.0%	3,465	100.0%	33.2%
荷造運送費	38	1.5%	47	1.4%	24.4%
広告宣伝費	21	0.8%	31	0.9%	45.6%
人件費	562	21.6%	556	16.1%	-1.0%
減価償却費	52	2.0%	40	1.2%	-21.7%
賃借料	32	1.2%	34	1.0%	5.3%
その他	286	11.1%	342	9.8%	19.5%
販売・管理費	993	38.2%	1,053	30.4%	6.0%

◎経費コントロールを継続実施。

# バランスシート概要



(単位:百万円)

	2010/5期 2Q	2010/5期	2011/5期 2Q	増減額 (対前期末比)	備考
現金・預金	1,666	2,297	2,298	0	
受取手形・売掛金	1,585	1,948	2,046	97	
棚卸資産	1,386	1,361	1,493	132	
その他流動資産	551	492	446	-46	
有形・無形固定資産	3,702	3,550	3,581	31	米国現法事務所移転
投資等	3,251	3,169	3,115	-54	
<b>資産合計</b>	<b>12,144</b>	<b>12,820</b>	<b>12,983</b>	<b>162</b>	
支払手形・買掛金	483	819	903	84	
短期借入金	204	179	184	4	
その他流動負債	256	430	458	27	
長期借入金	80	97	133	35	
その他固定負債	534	545	552	7	
<b>純資産合計</b>	<b>10,584</b>	<b>10,748</b>	<b>10,752</b>	<b>3</b>	配当金支払、為替換算調整
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,144</b>	<b>12,820</b>	<b>12,983</b>	<b>162</b>	

# キャッシュフロー概要



(単位:百万円)

	2010/5 期 2Q	2010/5期	2011/5期 2Q	備考
営業活動	513	1,149	268	売上債権、棚卸資産増加
投資活動	-102	-37	-231	固定資産取得
フリーキャッシュフロー	410	1,111	37	
財務活動	-252	-374	-70	
現金及び 現金同等物の残高	1,411	2,000	1,934	

# 1-2) 2011年5月期通期見通し (連結)



(単位:百万円)

<ご参考>

	2010/5期 実績	2011/5期			通期増減 (対前期比)		期初予想 (2010.7.9)	
		上期実績	下期予算	通期見込	額	率	額	修正額
売上高	6,046	3,465	3,355	6,820	774	12.8%	6,600	220
営業利益	200	332	168	500	299	149.8%	365	135
営業利益率	3.3%	9.6%	5.0%	7.3%	—	—	5.5%	1.8%
経常利益	373	396	264	660	286	76.6%	500	160
当期純利益	173	227	43	270	96	55.6%	270	0
1株当り純利益 (円)	23円29銭	30円49銭	—	36円25銭	—	—		

(為替レートを1米ドル=90円→85円、1人民元=13円→12円50銭へ変更しております。)

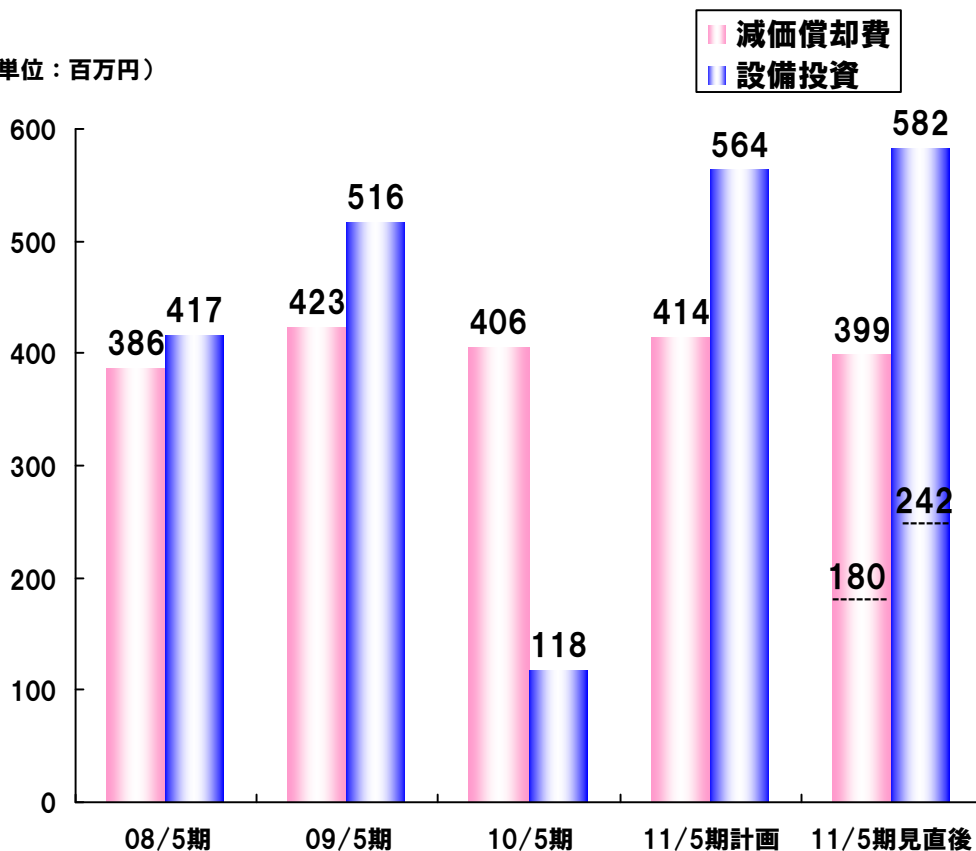
◎第2四半期累計実績を踏まえ、円高や景気先行きへの不透明感はあるものの、光学素子・薄膜製品の受注が堅調であり、通期業績予想を修正。

# 設備投資・減価償却費推移（連結）



## 設備投資・減価償却費

（単位：百万円）



## 補足説明

### ◎主要設備投資

#### ○08/5期

- ・ 本社工場E棟用地整備 0.5億円
- ・ 大型真空蒸着装置 0.7億円
- ・ 能登工場機械設備 0.4億円

#### ○09/5期

- ・ 新鋭真空蒸着装置等 1.3億円
- ・ 真空蒸着装置更新 0.7億円

#### ○10/5期

- ・ 真空蒸着装置更新 0.3億円
- ・ 情報システム投資 0.2億円

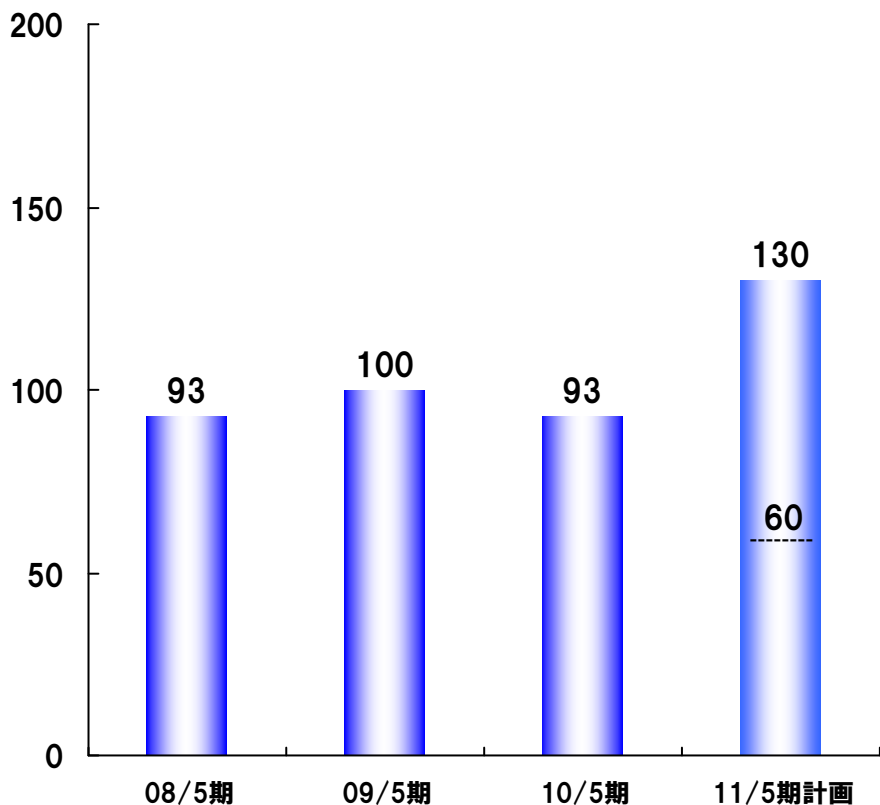
#### ○11/5期

- ・ 光学素子製品高度化投資 2.0億円
- ・ 情報システム投資 0.4億円
- ・ オプトシグマ  
新社屋移転改修工事 2.5億円

# 研究開発費推移（連結）

## 研究開発費

（単位：百万円）



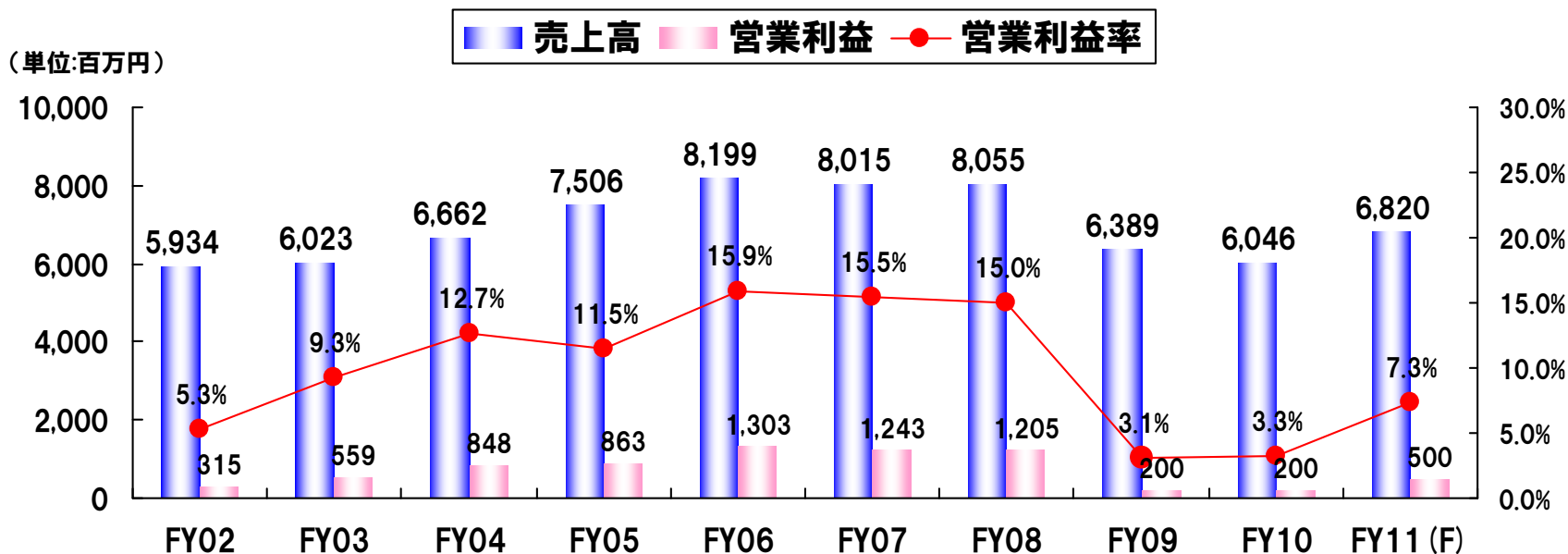
## 補足説明

（単位：百万円）

	自社	産学官連携
08/5期	89	4
09/5期	65	35
10/5期	57	36
11/5期	99	31
	人件費	人件費込 売上高比率
08/5期	97	2.4%
09/5期	92	3.0%
10/5期	97	3.1%
11/5期	112	3.6%

（注）研究開発費には、人件費を含んでおりません。

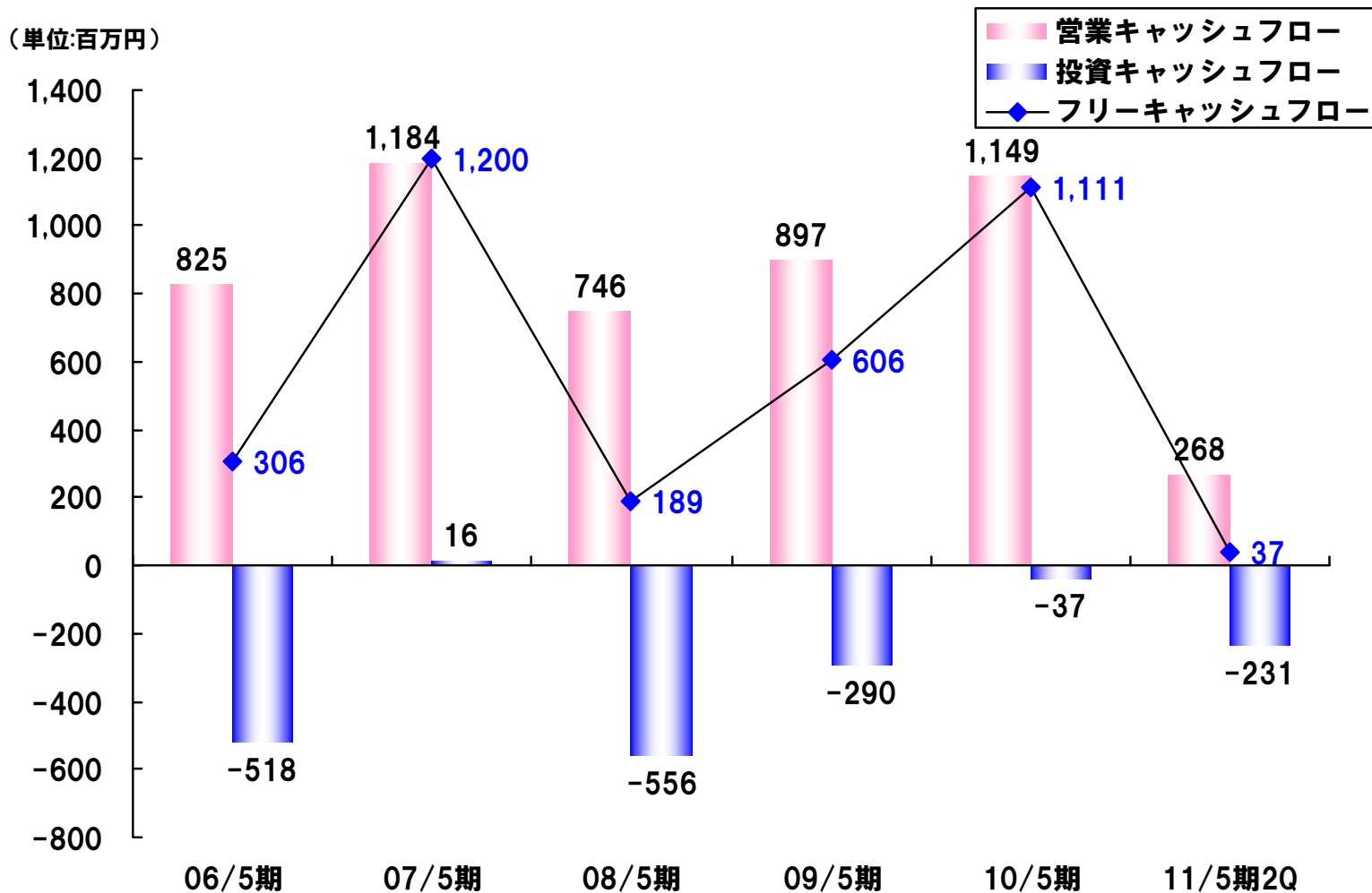
# 売上高・営業利益・営業利益率推移



## \* 強固な財務体質を堅持

- ① 自己資本比率      FY02:62.1%                      → FY11/2Q:82.6%
- ② 利益剰余金        FY02:3,018百万円                      → FY11/2Q:5,492百万円
- ③ 純有利子負債      FY02:757百万円                        → FY11/2Q:▲1,981百万円

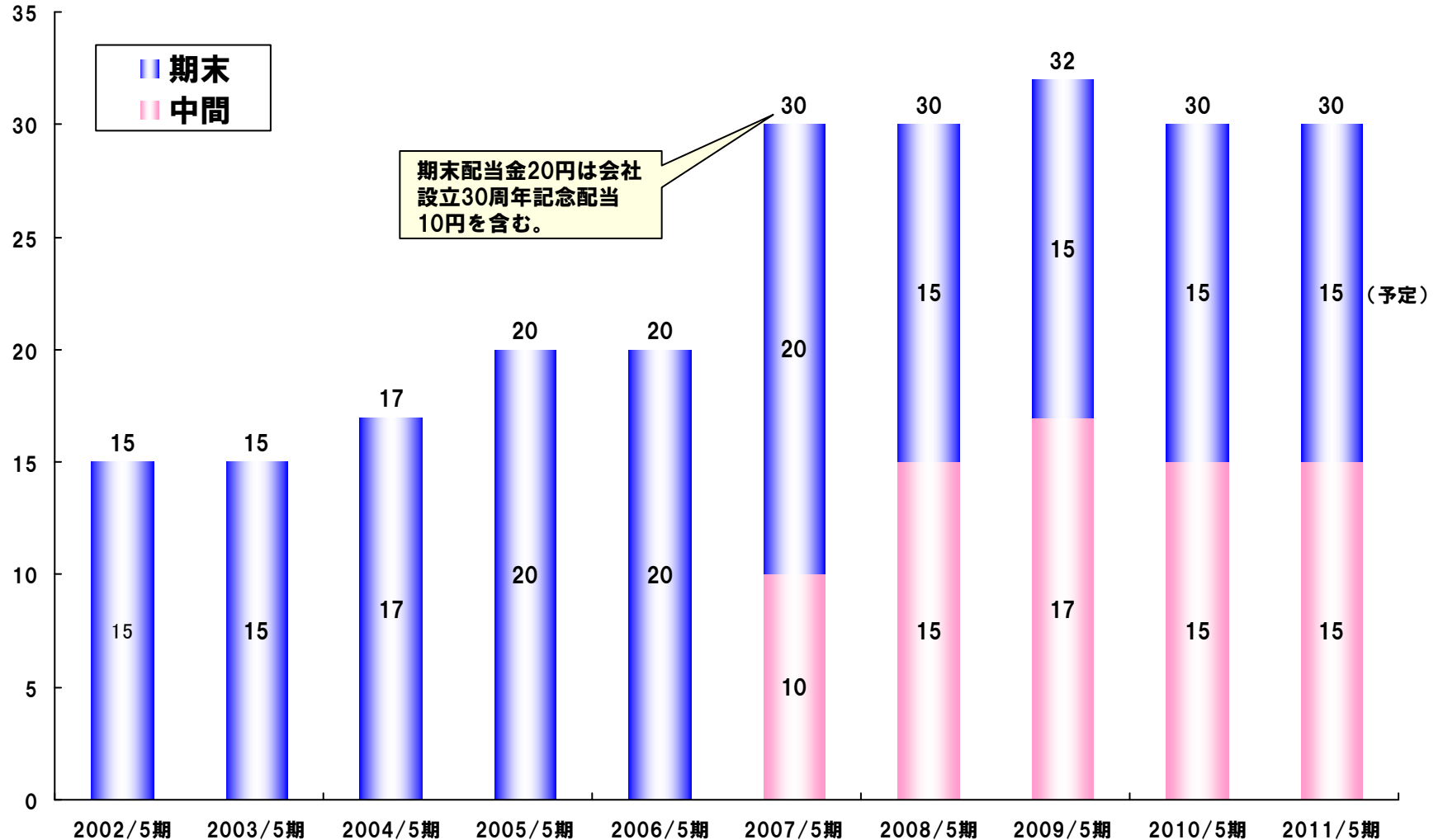
# キャッシュフロー推移





## 継続的・安定的な配当の実行

(単位：円)



# シグマ光機の成長戦略

- レーザ用要素部品、光学ユニットの高度化  
（研究開発用 及び 産業用）
- 国内市場に主軸をおき、アジア市場争奪  
（産業用ボリュームゾーン）
- 光ソリューション力の向上  
（営業技術、技術開発、生産技術陣の拡充）
- 企業ブランドの浸透  
（技術と品質を売る）

シグマ光機は

『光ソリューションカンパニー』

を目指す

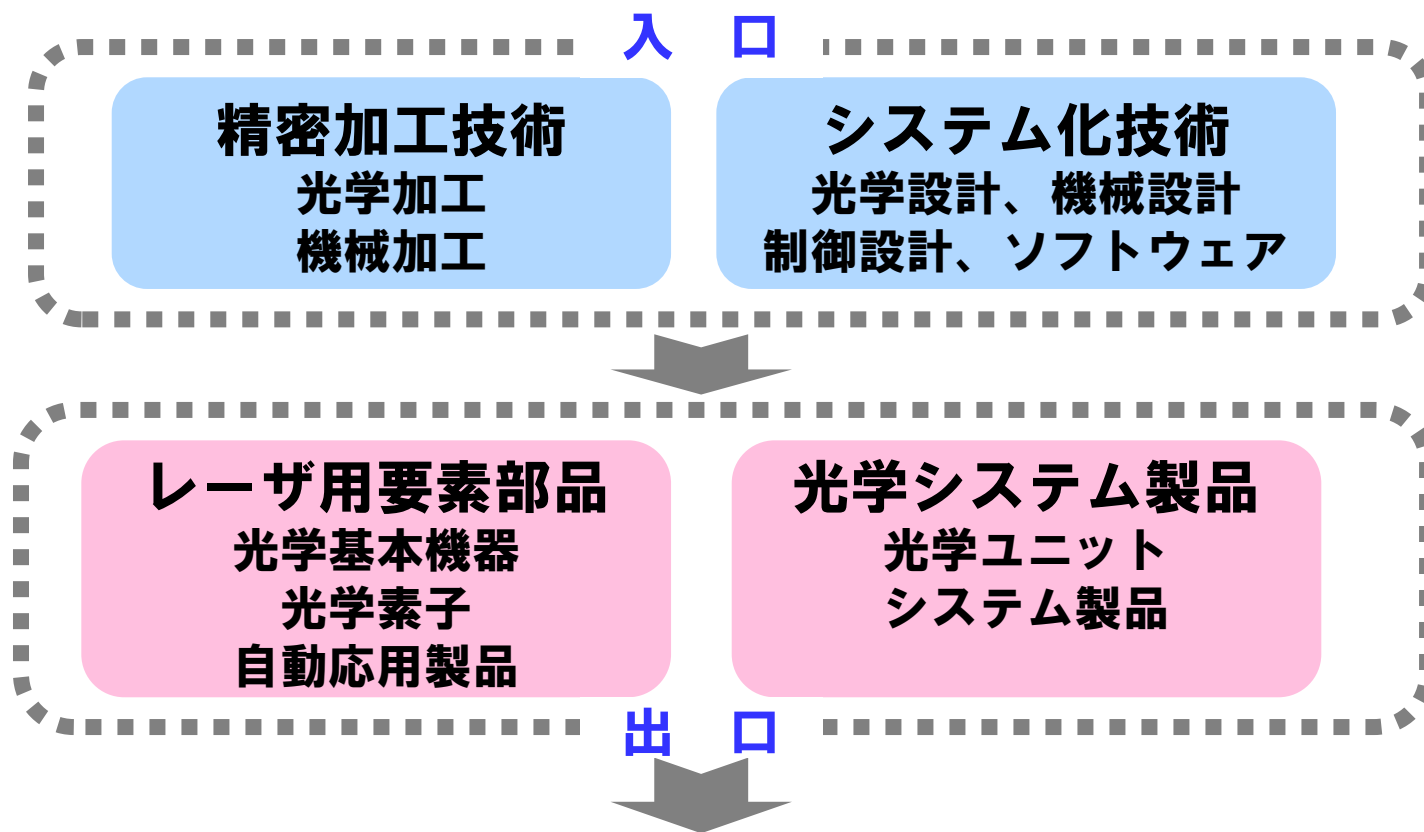
光技術の中核とする高度製品（モノの価値）

と

問題解決案の提供（サービスの価値）

☆製品を通じてサービスの価値を実現

# シグマ光機の光ソリューション



## マーケット：光産業のレーザー周辺応用分野

研究開発分野：民間・官公庁研究所、大学  
産業機器分野：生産ライン、光検査装置用

### 営業手法

カタログ営業・WEB  
提案対面営業・展示会

# シグマ光機の光学製品群と市場



- ・ 要素部品、ユニット製品を相互接続できる連鎖的機能性
- ・ ダイアグラム方式としてラインナップ

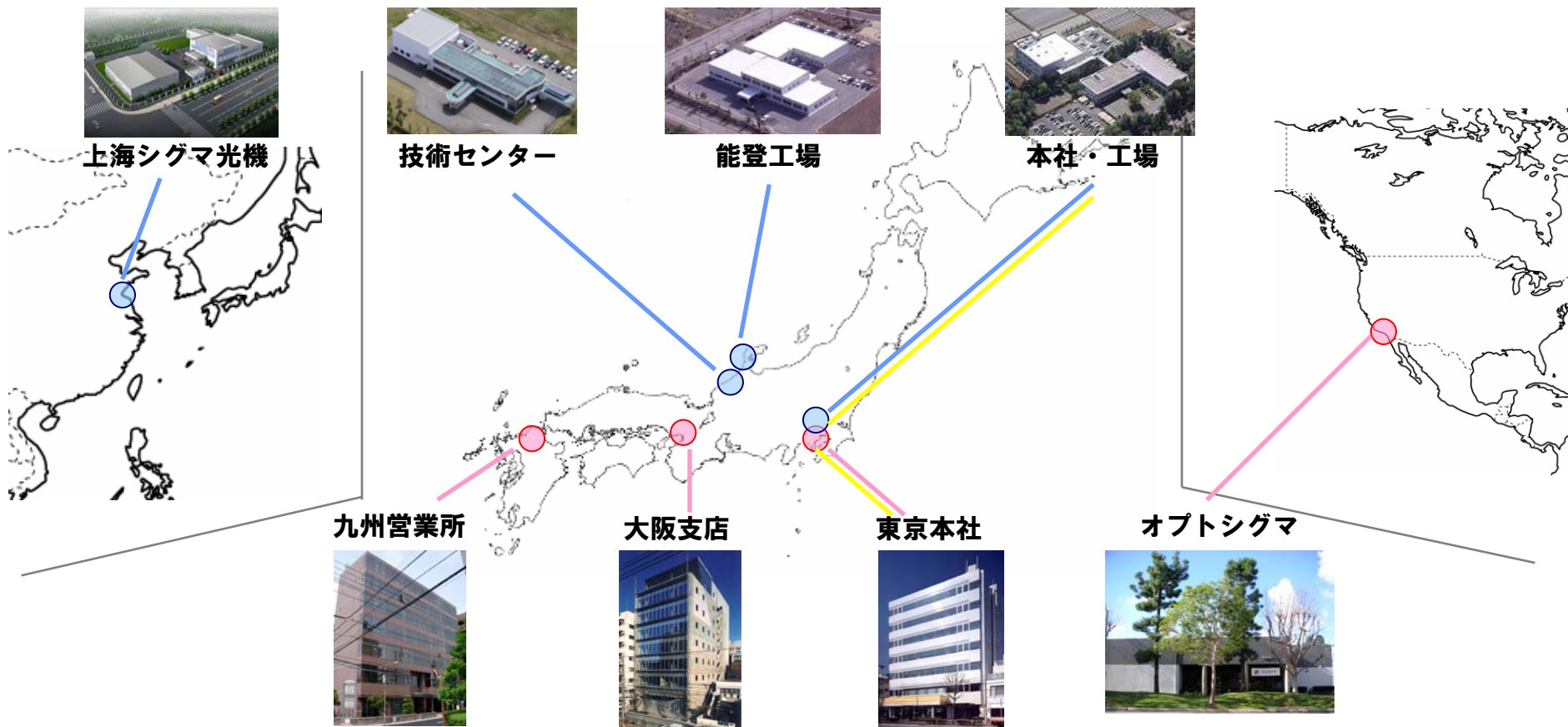
☆ R & D市場 ⇒ 量産に移行する前段階の製品市場  
☆ 産業用市場 ⇒ 生産及び検査ライン向け製品市場

# 生産・開発・営業拠点



<生産> 国内3工場 海外1工場

<開発> 国内2拠点



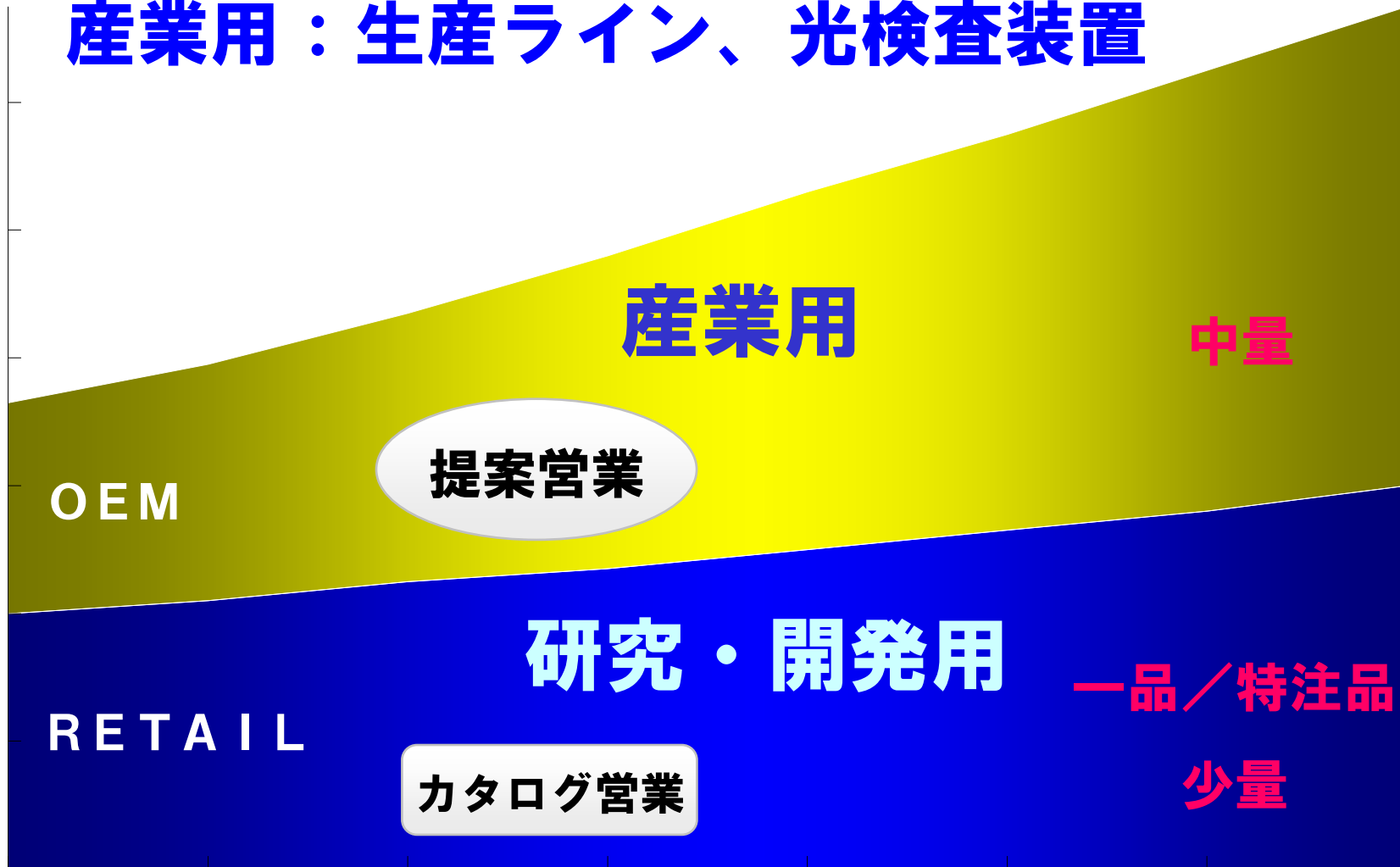
<営業> 国内3拠点 海外1拠点

# 部品・ユニット 成長イメージ図



売上高

産業用：生産ライン、光検査装置



時間

- ☆国内・海外市場対応の営業サービス体制
- ☆部品、ユニットからシステムまでの総合メーカー
- ☆規格製品、特注製品からOEM製品まで可能な工場力
- ☆ワンストップサービスで丸ごと受注可能



## <付加価値商品>

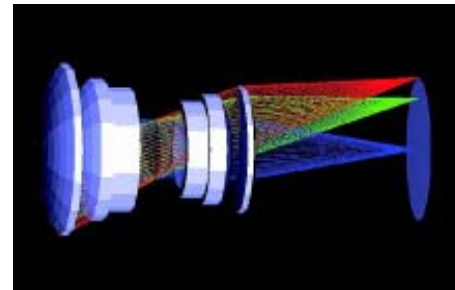
- 光学装置の中核となる部品、各種ユニットのブラッシュアップと開発
- 光学研磨技術、光学薄膜技術とレンズユニット（設計、調整、評価）



平面研磨機



真空蒸着装置



光学設計

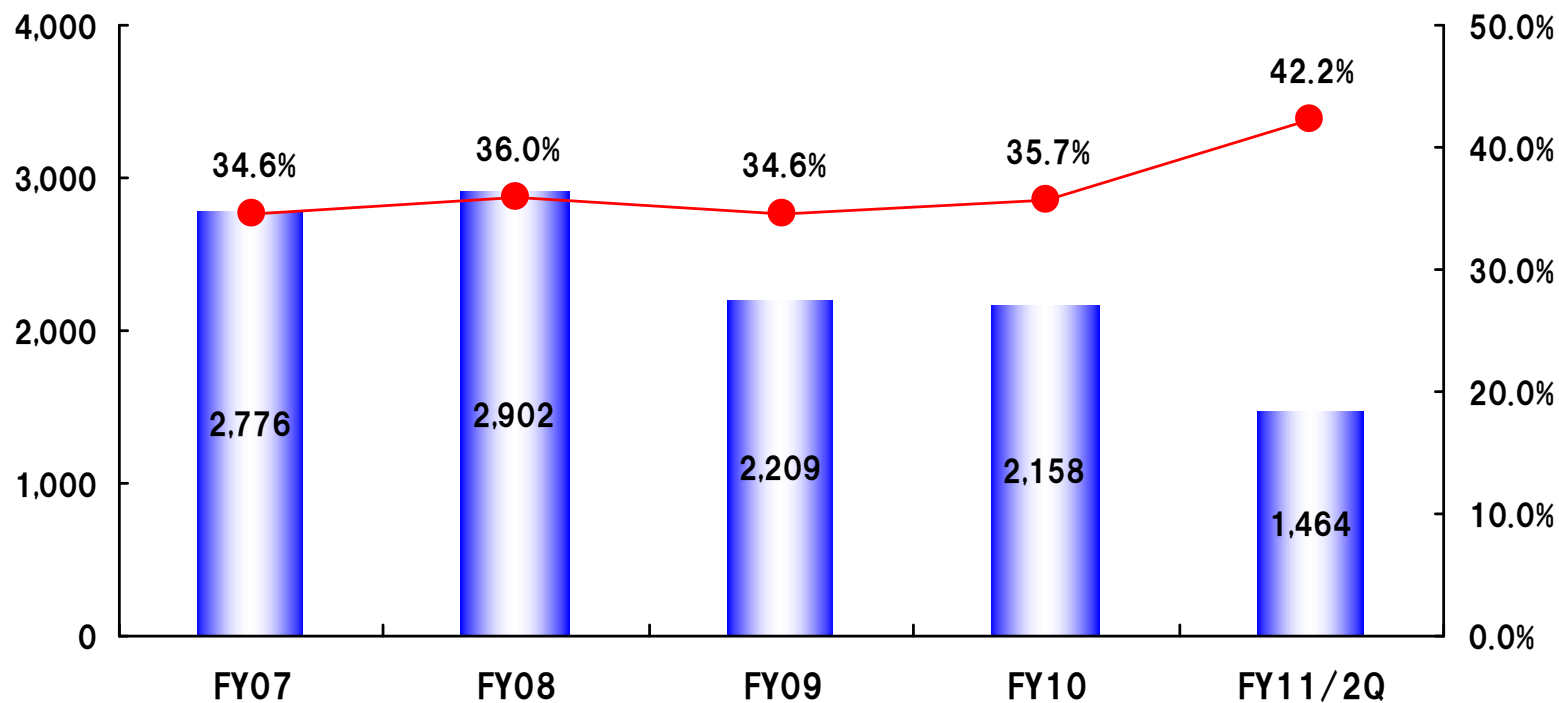


DUV対応対物レンズ

# 光学素子・薄膜製品売上高推移

(単位:百万円)

■ 光学素子 ● 売上高比率



(単位:百万円)

光学素子売上高	2,776	2,902	2,209	2,158	1,464 (2Q)
全社売上高	8,015	8,055	6,389	6,046	3,465 (2Q)

# 営業戦略－1

## ◆国内リーディングカンパニーとしてのシェアアップ

- ・少量～中量品への全方位競争と米系競合勢への対応

## ◆米国市場でのプレゼンスアップ

- ・オプトシグマ（CA）移転、拡充と積極的な展示会出展

## ☆フォトニクスウエスト（サンフランシスコ 2010/1）



Sigma Koki グループ

米国4強  
VS.  
日本1強



Newport



Thorlabs



Edmund Optics



CVI Melles Griot

## ◆アジア市場への注力

- ・代理店営業力強化（中国、台湾、韓国、香港、タイ、ベトナム、シンガポール、インド等）
- ・上海シグマ光機の活用（中国）

## ☆レーザワールド・フォトニクス チャイナ（上海 2010／3）



## ◆営業ツール整備、拡充

- ・カタログ（日・英・中）、WEB、展示会（国内外）

# オプトシグマコーポレーション

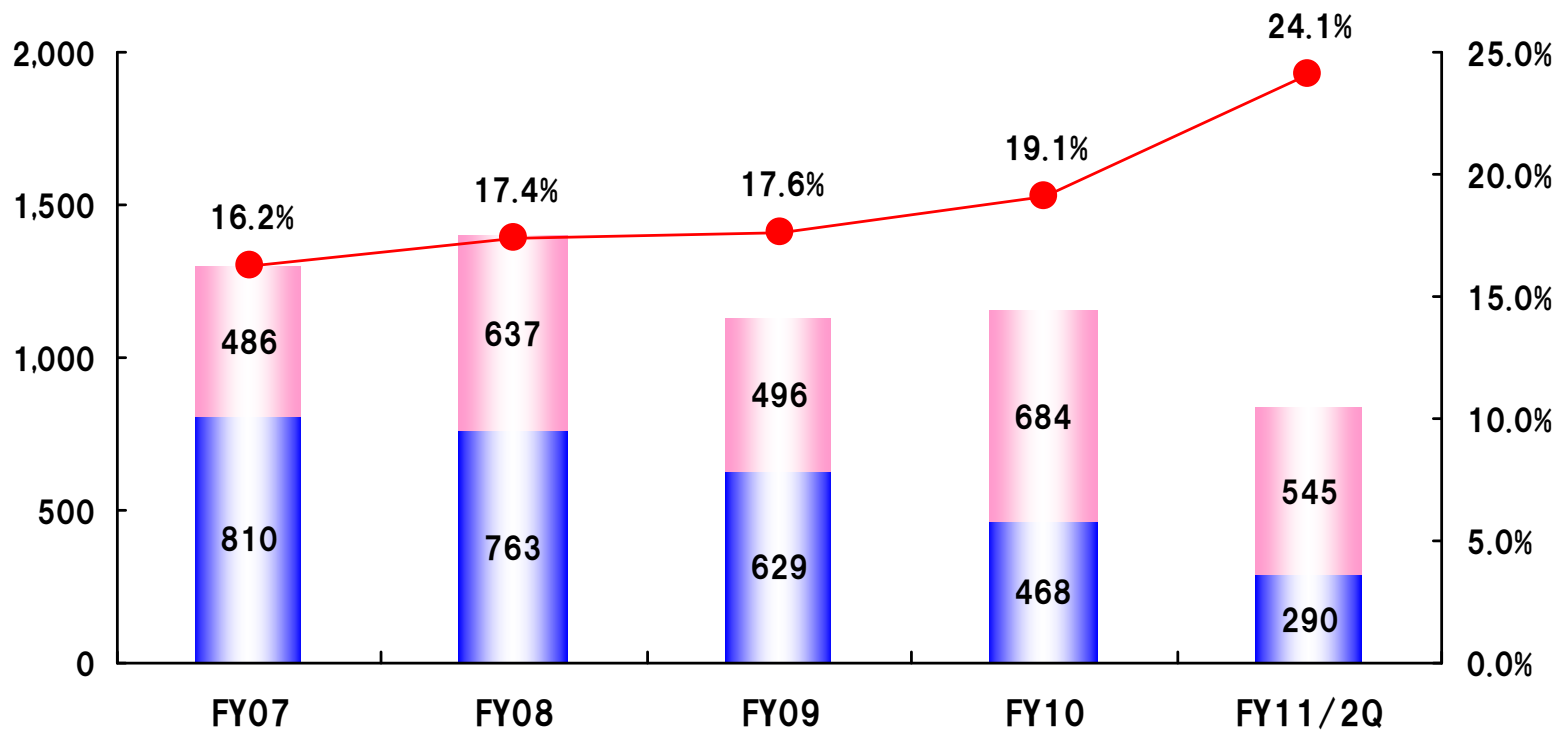
2010年11月移転 新オフィス1,700m<sup>2</sup> (旧の1.7倍)  
(CA州 Santa Ana 市)



# 海外売上高推移

(単位:百万円)

■ 北米 ■ その他の地域 ● 海外売上高比率



(単位:百万円)

海外売上高	1,296	1,400	1,125	1,153	836 (2Q)
全社売上高	8,015	8,055	6,389	6,046	3,465 (2Q)

# 将来の見通しに関する注意事項

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証はいたしかねますのでご留意ください。